

様式 1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	みゆきっこ そら保育園	
運営法人名称	学校法人 山添学園	
福祉サービスの種別	小規模保育事業	
代表者氏名	園長 阪田 博亮	
定員（利用人数）	19 名	
事業所所在地	〒 532-0013 大阪市淀川区木川西4丁目1番37号	
電話番号	06 - 4862 - 6955	
FAX番号	06 - 4862 - 7246	
ホームページアドレス	https://tsubame-sora.com/	
電子メールアドレス	miyuki-sora@snow.ocn.ne.jp	
事業開始年月日	平成30年4月1日	
職員・従業員数※	正規 8 名	非正規 1 名
専門職員※	調理師(委託) 1名 保育士 8名	
施設・設備の概要※	〔居室〕ワンフロアをクラスごとに分けている。	
	〔設備等〕厨房・事務所・更衣室・面接室・子どもトイレ・大人トイレ	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	0 回
前回の受審時期	年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

- ・子ども一人ひとりのありのままの姿を受け止め、乳児期に生きる力の基礎を育む。
 - ・保育園、家庭、地域が協力して、健全な子どもの育ちを保障する。
 - ・職員は、子どもの最善の幸福を第一義として保育を行う。
- 【保育目標】
- ・好奇心旺盛な子ども
 - ・自分の気持ちを表現できる子ども
 - ・人への信頼感を持てる子ども

【施設・事業所の特徴的な取組】

当園は、法人本部を守口市に構え、7つの事業を運営する学校法人山添学園が母体となり運営をしています。定員19名以下の小規模保育園として、愛着形成の土台となる重要な乳児期、ひとりの子どもに配慮する視点、丁寧に寄り添った保育を大切にしています。在園する子どもたちの中には外国籍のお子さんもあり、異なる文化や習慣を互いに尊重し合う多様性のある環境が、日常の中で自然と育まれています。また、小規模保育園ながら園でバス所有しており、近隣の公園や遠足に頻繁に出かけ、季節の変化を全身で感じながら好奇心や探究心を育む体験を日々提供しています。保育の質向上に向けては法人全体で保育スケール環境評価を導入し、スタッフ全員で保育環境や関わり方を定期的に振り返ること、根拠のある保育の実践と継続的な改善に努めています。さらに「つばめ保育園」と「そら保育園」が近くであることで姉妹園と連携し、合同行事や職員の助け合いも行い、多様性を大切にしながら、子どもたちの「生きる力」を育む地域に密着した保育園を目指しています。

【評価機関情報】

第三者評価機関名	特定非営利活動法人 ほっと
大阪府認証番号	270051
評価実施期間	令和7年6月1日～令和8年3月13日
評価決定年月日	令和8年3月13日
評価調査者（役割）	2301C021（運営管理委員） 2301C020（専門職委員） （ （ （

【総評】

◆評価機関総合コメント

学校法人山添学園は、守口市にある幼保連携型認定こども園の御幸幼稚園・さくらんぼ保育園を母体として運営しています。

平成27年4月に現在の大阪市淀川区に大阪市認可の小規模保育事業A型として「みゆきっこつばめ保育園」を開園しました。

そして、待機児童解消と保護者や地域のニーズにお応えし、平成30年4月に姉妹園の「みゆきっこ そら保育園」を開園しました。室内は乳幼児保育用に改装され、園児が快適に過ごせるようになっていきます。また改善点が見つかり、早急な対応もされています。保育に関しては発達・療育の重要性を保育士一同が認識し、集団保育に相互で連携を大切にした実践を積み重ねています。今後は会議等の振り返りが容易にできるように書類の整理・保管についての検討を望みます。

◆特に評価の高い点

小規模施設であることから、園児一人一人にきめ細やかな対応を行っていることや、保護者アンケートの回収率が100%であることや、記述内容からも満足されている内容となっていました。

また、多国籍、多文化に対しても対応し、グローバルな環境の中で一人一人の保育を大切にしています。

◆改善を求められる点

福祉サービスの基本方針と組織に関しては、法人全体での組織化が求められます。また、基本方針に関する職員周知に関しても、管理者としての創意工夫は見受けられましたが、具体的に組織的な改善策を提示するまでは至っていません。

具体的には、相談時の対応、情報提供の工夫を望みます。

法人としての各種マニュアル整備は進んでいますが、自園で活用ができるようにとして、職員への周知を進めることの望みます。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を真摯に受け止め、管理者としての取り組みにとどまらず、法人全体として組織的に改善を進めていくための体制づくりに着手するとともに、自園での基本方針の職員周知や相談対応・情報提供の改善、マニュアルの実践的な活用に取り組みながら、その成果や現場で見えてきた課題・気づきを積極的に法人へ発信・提案することで、現場と法人が連携した組織全体の質の向上につながる新たな仕組みづくりを共に進めてまいります。

◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

		評価結果
Ⅰ-1 理念・基本方針		
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
(コメント)	理念・基本方針は文章化されていますが、職員周知に向けて、さらなる工夫を期待します。定例会議等の際に、読み合わせや保育計画策定の際にも理念・基本方針に沿った計画立案になっているかどうかを職員間での再認識を深める場としての活用を望みます。	

		評価結果
Ⅰ-2 経営状況の把握		
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
(コメント)	福祉法人全体での会議等で報告は実施されています。今後は事業所として、福祉新聞等の外部からの情報収集にも力を入れ、事業所としても情報を受け入れるだけでなく、外部からの情報の収集、受け入れた情報を事業に活用できるような提案を望みます。	
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
(コメント)	管理者の中では経営課題は明確にされていますが、それを職員間での共通認識とし、具体的な取り組みを提案できるようになることを臨みます。	

		評価結果
Ⅰ-3 事業計画の策定		
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
(コメント)	社会福祉法人として目標は明確にされていますが、その目標に向かっての具体的な数値目標や見通し、現状を振り返る機会を検討することを望みます。	
Ⅰ-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
(コメント)	昨年度の振り返りはされていますが、中長期計画を見通した年度計画の策定を望みます。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
(コメント)	会議等は定期的実施されていますが、保育を振り返り、よりよい保育を目指していくうえでも、総括会議等を踏まえたうえでの計画立案を望みます。	
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
(コメント)	クラス懇談会等は実施されていますが、事業計画にを説明する場とはなっていないことから、懇談会での説明内容の実施を望みます。また、懇談会に参加できなかったご家族に対してもプリント等での周知を期待します。	

		評価結果
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
(コメント)	自己評価は年に1回実施されていますが、その活用方法についてはさらなる検討をおこない、職員全体での振り返りができるような工夫を望みます。	
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c
(コメント)	今回が初めての受審のため、今回の指摘事項についての次回の改善を期待します。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

		評価結果
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ		
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
(コメント)	管理者としての役割と責務については、個人として大きく自覚し役割も担っていますが、職員の中での管理者責任と役割について認識が十分でなく、組織的な改善を望みます。	
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
(コメント)	今年度は不審者対応等、法令順守を基本に職員への周知徹底を図っていますが、研修や職員会議等の振り返りで、理解度を確認する取り組みに期待します。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
(コメント)	職員に向けて、面談シートを作成し、職員一人一人の振り返りや課題を整理し、組織的な力を引き出すことができています。今後は面談から引き出した課題について、組織的な解決に向けて更なる取り組みを望みます。	

Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
(コメント)	経営状況の分析などは法人全体で取り組まれています。園単位でも有休消化やワークバランス等についても積極的に展開されていますが、改善に向けての取組みが職員全体で組織的におこなわれ、会議の場で報告や振り返りができるような工夫が望まれます。	

		評価結果
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成		
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
(コメント)	保育事業そのものが、人材確保が難しい状況になっている中、職員の定着に向けては個人面談やキャリアアップに向けての工夫も見られましたが、新規の採用に関しては、園単位での取り組みだけでなく、法人として、人材確保に向けての具体的な方針立案を望みます。	
Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	b
(コメント)	園内での会議や個人面談等、組織的に整理をされていますが、給料体系等、職員への周知が不十分な部分も見受けられました。今後は、職員が将来の姿を描ける総合的な仕組みを構築していくためにも、法人単位での人事管理の整理を望みます。	
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
(コメント)	管理者が有休消化についても確認し、ワークライフバランスについても職員が働きやすい職場を作ることに力を注いでいます。職員面談においても、面談シートを準備し職員がキャリアアップを図れるような工夫もされています。今後は園内での組織的な役割についても検討し、職員の勤務意向に寄り添った組織作りを期待します。	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
(コメント)	法人の人材育成だけでなく、園としての研修計画や個人面談を基本としたキャリアアップの作成に期待します。また、伝達研修等を利用し、職員同士でのキャリアアップが図れるような取り組みを期待します。	
Ⅱ-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
(コメント)	法人単位だけでなく、法人計画を基にした園独自の計画と後で振り返りができるような記録の作成を望みます。	
Ⅱ-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
(コメント)	法人主催での研修だけでなく、職員の個人面談を基に研修計画の立案、伝達研修の実施、外部研修への積極的な参加呼びかけ等を期待します。	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
(コメント)	法人としてのマニュアルはありましたが、再度園内で実習生の受け入れの目的・意義を確認し、積極的な実習生の受け入れを期待します。	

		評価結果
Ⅱ-3 運営の透明性の確保		
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	c
(コメント)	法人単位では、会計士、税理士等専門家を交え取り組まれ、決算書の情報は公開されていますが、事業計画や、苦情の公開も望まれます。園としても園だより等で、家族に情報提供を期待します。	
Ⅱ-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
(コメント)	法人としては各事業ごとでのホームページを作成し、園の全貌が見えるような工夫はされています。今後は法人全体が見えるような工夫が望まれます。	

		評価結果
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献		
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
(コメント)	日々の保育の中で、近隣の数ヶ所の公園への散歩に行き、地域に出て活動はしているが、子どもたちが地域活動に参加する機会をつくっていません。地域の小学校で開催されているお祭りには職員がボランティアとして参加して交流を深め始めています。 今後は自治会との関係を深め子どもと地域との交流をつくっていく取り組みに期待します。	
Ⅱ-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
(コメント)	ボランティアの受入れは今年度より開始しはじめたばかりで、保育士もまだ外部の人が現場に入ってくことに慣れていません。 今後、ボランティアとの良い関係づくりに期待します。 地域の学校等への協力についても関係を深めていく取り組みを望みます。	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
(コメント)	自治会にはいつてはいますが、定期的な連絡会等には参加しておらず、関係団体との繋がりが未熟で地域の共通の問題に対して具体的な取り組み等は現時点では難しく、ネットワーク作りは今後の課題です。 自治会等への参加は施設長が行っており、保育士にとっては関心が薄く自治会や地域との関係や役割についての理解は不十分です。	
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域福祉のニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
(コメント)	施設見学等に来られた時に、入園の相談等があれば対応はしていますが、地域にむけてオープンに開催することはしていません。 今後、地域向けの取り組みに期待します。	

Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
(コメント)	見学等の方が来られた時に、悩みや子育て相談を聞く機会をつくっていますが、地域の具体的な福祉ニーズについては把握できていません。 地域の中にある事業所の一つとして、日常保育の中で、地域のニーズが拾える視点が現場には育ち切れていませんが、今後地域福祉を視野に入れた人材育成には取り組みたい意向をもたれていることに期待します。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
(コメント)	多国籍の子どもがいるため、一人一人の生活習慣や文化の違いがある中で、家族とのコミュニケーションをはかり、子どもたちがお互いに尊重する気持ちを育めるよう、肌の色の違う人形を置いていたり、様々な国の食を給食に取り入れたりと、配慮し保育しています。 人権研修等については、法人内研修ではおこなわれていますが、園全体の伝達研修でひろげられていません。 虐待等の研修を時間をかけて深めて行きたいとの意向を話されており、現場保育士の意識向上を期待します。	
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
(コメント)	小規模保育園という狭い空間ですが、規定・マニュアル等にもとづいて、排泄・着替え等、生活場面での配慮はされています。 プライバシー保護等の研修が現場職員でできていないため、次年度は研修計画をたて実施し、保護者にも周知できるよう望みます。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
(コメント)	パンフレット等は公共施設など多くの人に触れる場所には設置できていませんが、子どもたちの様子や園の取り組みがわかるように、ホームページやInstagramで園の様子を伝えています。 多国籍の見学者にもできる限りの説明をおこない保育内容を理解してもらえる工夫をしています。	
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
(コメント)	契約等の際には入園のしおり等を用いて丁寧に説明をおこなっています。また、多国籍の保護者に対しルビ付きの資料等を準備し文化の違いなど理解をしてもらえるように説明を行っています。 施設長が行っていることが多く、役職者を含め担える職員を増やすことを望みます。	
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
(コメント)	0歳児から3歳児までの子どもたちなので、連携保育園には子どもたちの引継ぎをしています。今後は連携外の保育園との関係や卒園後の保育園との関係づくりに期待します。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。

Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	日々の送迎時に保護者への声掛けを行い、会話を深めることで利用者のご意見や希望の把握を意識的にこなっています。また、保護者懇談会を定期的の実施し行事の説明や子どもの様子を伝えています。 日本語での理解が難しい保護者には、文章だけでなく直接丁寧に説明するようにしています。 利用者アンケート等、利用者満足度調査は未実施ですので、今後は定期的なアンケート実施で改善課題等を把握するよう努められる事を望みます。	

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
(コメント)	保護者から意見や要望があった場合、全職会議で共有し課題の把握には努めていますが、苦情解決の記録がされていません。 苦情解決のマニュアルはありますが、苦情解決委員会等の開催がない為、職員・保護者へ周知に課題が残ります。 今後は苦情解決委員会等を開催し記録を残し、苦情解決に向けて課題共有していくよう期待します。	
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
(コメント)	保育園の入り口に意見箱は設置されており、意見を伝えられる環境にはなっていますが、園として苦情解決の仕組みが整備されておらず、保護者への説明が不十分なため、活用がされていないのが実態です。 小規模な保育園の特性をいかし、どの職員も保護者への声掛けをし、保護者が相談や子どもの事を話しやすい風土になっています。	
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
(コメント)	マニュアルは整備されており、ヒヤリハット、事故報告等、職員全体では周知ができていますが、今後は現場職員が主体的に園や法人に意見を伝える機会を設け、保育の質の向上を望みます。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
(コメント)	園内で起こった事案については「ヒヤリハット」報告書を作成し、その事例を会議で全職員に報告共有しています。 園の点検・消毒等も毎日行い異常があればすぐに報告する事で事故を未然に防いでいます。 事故には至らなかったささいな気づきについても「ヒヤリハット」として意識し報告することで、事故を防ぐことを職員間で確認できるようにすることが望まれます。	
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
(コメント)	感染症の予防及び発生を広げない為の対策について、マニュアルを整備し、園だよりや掲示板等を活用し保護者への情報提供をしています。 文化の違う保護者に対しても理解を促し丁寧に周知をされています。 今後は定期的な感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催し、組織として体制を整備し取り組みを進めていく事を望みます。	

Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
(コメント)	園では月に1回の避難訓練を実施。火災・不審者等 様々なシチュエーションを計画的に実施しています。 園がはいっている建物全体の訓練にも参加し、園の状況を知ってもらう機会にしています。 備品等は園の立地上、少し離れた倉庫に保管しています。災害時にすぐに必要な食料・おむつ等 非常持ち出し用リュック等を検討中とのことなので早急に準備をすすめられることを望みます。	

		評価結果
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
(コメント)	保育の指導計画書等、実施方法は文書化され、整備されています。 実施後の振り返り等、職員集団で総括し共有する会議の仕組みや記録の整理をされる事を期待します。	
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
(コメント)	指導計画について、一人一人の個別指導計画が作成されています。 実施後 職員集団での振り返りや、職員や保護者からの意見や提案を反映する機会をもって実践をよりよいものにしていくことを期待します。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
(コメント)	指導計画については、アセスメントに基づき作成しています。 気になる子どもや文化の違う子どもたちの計画を作成するにあたり、保護者ニーズをより把握するためにも、様々な職種や関係機関と連携し積極的な保育の提供ができるように期待します。	
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
(コメント)	指導計画については、見直しの時期・保護者の意向等について、反映されるよう計画づくりはおこなわれていますが、集団での振り返り等が課題です。職員集団で意見交流をする機会をもち保育の質の更なる向上を望みます。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
(コメント)	保育記録等 申し送りは実施され記録されていますが、気になる子どもの記録が多く、子どもひとりひとりへの記録を丁寧にされ全職員会議で共有されることを望みます。	
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
(コメント)	個人情報については、規定を共有し、管理を徹底しています。 ケース等は、鍵付きの棚に保管すること・園保管のUSBにデータを入れたり園外に持ち出すことの禁止等は徹底しています。 インスタグラムでの子どもの映像についても、保護者と文章で確認し不適切な利用や漏洩のないよう管理しています。	

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

		評価結果
A－1 保育内容		
A－1－（１） 全体的な計画の作成		
A－1－（１）-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
（コメント）	全体計画は保育の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの発達過程や子どもと家庭の状況や保育時間などを考慮して作成されています。保育にかかる全職員が参画して作成されていないということなので、定期的に評価を行い、次の作成に向けて、保育にかかる職員の作成になることを期待します。	
A－1－（２） 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A－1－（２）-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
（コメント）	保育室は採光も十分で清潔です。玄関から保育室、トイレと子どもにとって見通しの持ちやすい動線になっています。環境スケールをきっかけに、ロッカーや遊びのコーナーなど0～2歳の発達年齢に応じた環境になっており、空間をうまく利用し、安全面を十分配慮した配置になっていて、くつろげるスペースとなっています。	
A－1－（２）-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
（コメント）	全体が見渡せる環境の中で、保育士が園児一人ひとりに落ち着いた声で、笑顔で丁寧に関わっています。全職員が園児の様子を伝え、報告し合い、クラスを越えた小規模保育園の良さを生かし、家族的な温かい雰囲気が伝わり、保育士同士で共有しているのがわかります。	
A－1－（２）-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
（コメント）	子どものロッカー等年齢の応じた背丈になっており、自分のものが分かりやすく手に取れるように配置されています。日々の予定は、生活の節目を落ち着いた言葉で全体や個々に言葉かけたり、自分で出来ることは自分で大切に守ったり、また援助したりしながら基本的生活習慣が身に付けられるように配慮しています。	
A－1－（２）-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
（コメント）	うまく仕切りを作りながら、子どもが主体的に自由に好きな遊びを楽しめる環境を用意しています。その中で一人で楽しんだり、子ども同士の自然な関わりが見られ、保育士が見守り、うまく遊びが続けられるように関わる等、主体的に遊ぶことを大切にして日々の遊びを展開しているのがわかります。	
A－1－（２）-⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
（コメント）	担任の保育士は1対1の関わりを大切にゆったりと話しかけ、子どもの気持ちを言葉で代弁したりしながら、情緒の安定をはかり、1歳児の子どもたちと一緒に過ごすことで遊び等で刺激を受け、楽しい生活を送れるように配慮しています。	

A-1-(2)-⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	1歳児は0歳児と一緒に生活することが多いです。全体が見渡せるようになっているので、2歳児の子どもたちや保育士同士も連絡を取り合い協力し合っています。1歳2歳児クラスの子供もたちは、うまく言葉で伝えられない時など、保育士が間に入りながら、お互いの気持ちを代弁したりしながら、子ども同士やりとりの援助をしています。2歳児は子ども同士で関わり合い、共同で積み木等で遊びが持続するよう保育士が仲立ちとなっています。	
A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	—
(コメント)	非該当	
A-1-(2)-⑧	障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
(コメント)	配慮の必要な子どもに対して職員同士報告し合い、連携を取りながら遊びや生活の中で、丁寧に言葉をかけたり、援助したりすることを大切にしています。限られた空間の中ですが、これからも発達に応じた教材やおもちゃを用意したり、少人数の落ち着いた家庭の雰囲気を活かし、工夫していくことを期待します。	
A-1-(2)-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
(コメント)	引き継ぎノートを活用し、保育士間の引き継ぎを丁寧に行っています。一日の生活を見通し、子どもの主体を意識した遊びや異年齢児と関わりながら、小人数の「大きなおうち」の中で過ごせるような環境を大切に、一人ひとりに合った保育をしています。お迎えに来られた保護者に、子どもの様子を丁寧に伝えていきます。	
A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	—
(コメント)	非該当	

1-(3)健康管理

A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a
(コメント)	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づいて健康管理の実施がされています。毎日の睡眠チェック表の記入時、子どもの睡眠の向きを記入し、またSIDS（乳幼児突然死症候群）を予防するための職員研修を行っています。怪我をした時は園長に報告、処置簿に記入し、大きな怪我の時は事故報告書を作成し、伝達会議等で情報共有しています。	
A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b
(コメント)	内科健診、歯科健診の結果は保護者に伝えていきます。毎月の身体測定も連絡ノートに記載されています。今後は、健診結果を踏まえ家庭と連携をおこない、保育計画・実践に反映されるようになることを期待します。	
A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
(コメント)	アレルギーは、医師の意見書とアレルギー検査結果を提出してもらい対応しています。保育室内に調理室があり、誤食を防ぐため声を掛け合う等、調理の職員（外部委託）と連携し、お盆の色を変えたりしています。	

A-1-(4) 食事	
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
(コメント)	衛生管理マニュアルが整備されています。調理室が子どもの保育室の目の前にあり、調理している様子や出来上がる匂いがしてくる環境にあります。離乳食は月齢に合わせ、家庭と連携しながら完了食へとすすめています。苦手なものでも食べられたら喜んだり、ほめることを大切にしながら、日常、給食会議で話し合い、おかわりをするなど個々に合った量の食事ができるよう工夫しています。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
(コメント)	2歳児クラスの子どもたちがプランターに野菜を育てたり水やり等のお世話をし、季節に合わせた給食をつくる等、子どもたちが食材や「食」に興味を持てるように調理員とも話し合い工夫をしています。検食簿は整備されています。給食時、調理員が子どもの食べている様子を保育士からこまめに聞いて一人ひとりの子どもの名前を把握されています。

評価結果	
A-2 子育て支援	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携	
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
(コメント)	送迎時では、保護者と家での様子を聞き取り、お迎えの時は特に外国籍の子どもの保護者には丁寧に伝えるようにしています。連絡ノートを活用し、保護者とのキャッチボールを意識しています。個人懇談やクラス懇談会を実施し、子育て支援や相談、保護者同士の交流を大切にしています。
A-2-(2) 保護者等の支援	
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
(コメント)	送迎時等、その都度必要な場合に応じて、保護者からの相談に丁寧に話を聞き、保護者との信頼関係を築いています。個人懇談も行い、子育ての悩み等を聞き、保護者の思いに寄り添いながら、安心して子育てができるような機会にしています。相談を受けた保育士が助言を受けられる体制をつくることを期待します。
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
(コメント)	家庭での虐待等疑われる場合には、情報が園長に届くようにしています。マニュアルは整備されているので、園内でマニュアルに基づく職員研修を行うとともに、園長は速やかに児童相談所等の関係機関に繋げていける体制づくりを整えるよう期待します。

評価結果	
A-3 保育の質の向上	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
(コメント)	環境スケール等を通して評価が明確に可視化され、自己評価を行いやすくなりました。環境評価スケールをきっかけによりよい保育へと繋げようとしています。自己評価が個人と上司だけで共有されているので、さらに保育所評価になるように全体で話し合い共有していけるよう期待します。

		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	b
(コメント)	「就業規則」等の規定に体罰等の禁止を明記しています。園内での研修報告により気をつけるよう周知しています。今後も体罰を伴わない援助技術の学習や職員倫理の向上に向け園内研修を行われることを望みます。「虐待」「権利擁護」「差別」「合理的配慮」を大切にされています。さらに今後人材育成に向けて研修を積み重ねていくことを期待します。	

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	
調査対象者数	14人
調査方法	家族アンケートを実施、配布は園で行い、回収に関しては、直接第三者評価間であるほつとに届くように返信用封筒を添えて配布、多国籍の家族に対応できるように、アンケート言語も母国語を使用して配布を行いました。

利用者への聞き取り等の結果（概要）

配布14名中14名回答 回収率100パーセント

ほとんどが満足をしている回答でしたが、個人情報の管理に少し不安がある方もいらっしゃいました。将来的に声の漏れない相談室の確保は難しいとは思いますが、相談中に声が漏れない工夫等を検討していただけたらと思います。

保護者の声

- ・小規模なので保護者と子供の距離が近く、よく見てくれる
- ・保育士がやさしく、温かい雰囲気ですぐに接してくださるので、安心して子供を預けることができます。子どもも毎日楽しそうに通っており、園での時間をのびのびと過ごしている様子が伝わってきます。温かい保育士に感謝しています。
- ・保育士の数が園児の数に対して他園より充実しており手厚いと思う
- ・全ての月齢クラスとの交流がある。体を動かす機会が充実している。一人一人に寄り添って保育してくれる。
- ・満足しています。
- ・子ども一人一人に対してしっかり向き合っている。布おむつによるトイレトレーニングの実施。細かなことも伝えてくれる。伝えやすい。
- ・少人数なので、一人一人に向き合っていていただけていると思います。
- ・園児の様子をよく見てくれており、遊びや園生活を教えてくれるので、休みの日も同じような遊びや体験をさせています。
- ・車で送迎している人がいて路上駐車禁と聞いているが、注意している様子がないのが気になる
- ・口拭き、エプロンサービスはほとんど使わないので、いらなかなと思っています（業者に月額料金とられているので）
- ・協力日が多いと思います。
- ・保育量にプラスして払っているリース代金が少し高いかなと感じるが、リースを利用させてもらっているので、仕方ないかなとも思う。
- ・家の都合でどうしても預けたいと思っても、9:00~16:00しかダメとか土曜保育の制限がある。仕方ないかなと思うが、もう少しその都度対応していただきたい。

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

	例
居室	●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等
設備等	●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等